

第5回 SYSMEX-IPPANKEN Seminar in NAGOYA

日時：2014年7月5日(土) 15:30-18:20 (開場15:00)

会場：名古屋第二赤十字病院
第3病棟1階 研修ホール

名古屋市昭和区妙見町2-9 TEL: 052-832-1121

テーマ：「**穿刺液一般検査の標準化に向けて**」
～より広く理解されることを求めて～

司会：名古屋第二赤十字病院 医療技術部 安土 みゆき 先生

穿刺液検査(髄液・腹水・胸水・関節液等)は検体検査のうちでかなりの件数が行われている。一般検査としてトラディショナルな方法から表面マーカー、遺伝子関連検査など幅広く行われている。

今回、MT誌に詳細な解説論文を記述された三井記念病院・矢野正生先生をお呼びしました。また、近年髄液細胞、体腔液細胞が血球分析装置での測定が増加の傾向がみられますので装置による分析とマニュアル法についての講演を企画しました。まだ標準化されていない体腔液(腹水・胸水)細胞数算定と関節液細胞数算定について詳細なデータと症例を含めて報告していただき、施設間での測定方法、報告様式が異なる現状から標準的測定方法を検証し、より有効な臨床情報となる方法を考えていきたいと思っております。多数ご参加ください。

教育講演 15:35-16:25

演題：『**穿刺液(腹水・胸水・心嚢水)検査の**

基礎知識とその臨床的意義』

演者：三井記念病院 検査部

矢野 正生 先生

穿刺液細胞数算定の標準化について

講演1 16:45-17:00

演題：『**分析装置の活用/XN-2000 による髄液細胞数算定について**』

演者：藤田保健衛生大学病院 臨床検査部 中平 直樹 先生

講演2 17:05-17:45

演題：『**マニュアル法/体腔液細胞数算定**』

演者：諏訪中央病院 中央検査科

保科 ひづる 先生

講演3 17:50-18:20

演題：『**マニュアル法/関節液細胞数算定**』

演者：岐阜赤十字病院 検査部

林 晃司 先生

情報交換会 18:30-19:30

主催：シスメックス株式会社

共催：臨床一般検査研究会